

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいデイサービスあすなるクラブ兵庫		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 8日		令和8年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 8日		令和8年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の不安や緊張が軽減出来るように、個室を多く設け、必要に応じた支援を行う事が出来る。</li> <li>・バリアフリーの環境も整っている事で安全かつ安心出来る支援を心掛けている。</li> <li>・利用者の強み・弱みを客観的に捉えながら支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段経験の出来ない外出活動や事業所の中で行う活動などを展開し、個々の役割を設定したり、他者との関係性の構築に繋げていけるように支援している。</li> <li>・個々でスケジュールを準備し、特性に応じた(情報の振りすぎ)対応を取りながら、見通しが持てる環境を作っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「出来なかった。→ 出来た。頑張れた。」に繋がった際に利用者と一緒に喜びながら、達成感・経験値が増える機会を大事にしている。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で支援の気付きや利用者の変化について日々確認を取りながら、風通しの良い環境が作れていると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょっとした変化でも議題に上げながら、利用者の困り感や職員の困り感も併せて論議する。すぐ答えを求めめるのではなく、時間を吟味しながら、支援の導きに繋げて行けるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も支援・支援以外の事で、困り事や職員間での悩み等を共有し、一人ひとりの個性を大事にしながら向き合っていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用に向けての問い合わせを多く頂く事がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用を希望している保護者様には、見学や状況に応じて体験の機会を設けながら、事業所の理念や個別対応、安心出来る空間での支援を行っている旨を伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所相談員様と児童発達支援のニーズを必要としている保護者様がどのくらい居るかを共有し、利用者様のアセスメントをしっかりと取っていきながら利用に繋げる体制を整えていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所外が駐車場である為、運動や外遊びが出来ない環境にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かす部屋を設けてはいるが制限がある為、近隣の公園で身体を動かせる時間を増やしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨天時は事業所の部屋を活用していくが、人数の制限に配慮したり、体を動かす目的で活動を取り入れるなどして工夫を行う。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告・連絡・相談が出来ている時と現場で支援をしている際、慌たしくなると、出来ない時がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員に余裕がない時こそ出来ない時がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼・終礼など職員が集まる時間を徹底して話し合いの中で、申し送りを密にしている。</li> </ul>
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	みらいデイサービス あすなるクラブ兵庫		公表日		令和8年 4月 1日		
				利用児童数	7	回収数	5
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1			あすなるクラブ兵庫は、十分なエリアの広さがあり、活動スペースが十分に確保されています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	1			職員の配置は、規定通りです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5				構造化された空間になっており、入り口には、活動カードを入れるポケットを設置している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5				ご利用者様が帰られた後、換気や掃除、消毒を毎日行っている。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5				宿題、自立訓練ワーク、ソーシャルスキルトレーニングは、お約束として行っている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5				あすなるクラブは、個別活動や小集団活動を主にしている。御一人おひとりの特性に応じた対応をしている。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5				個別支援計画は、保護者様にお話しをお聞きし、チームで立案をおこなっている。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5				5領域をもとに、支援内容をチームで考え支援をおこなっている。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	1			季節の行事や楽しい活動等を日々考え、利用児童様に提供するようになっている。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3		2		保育所や認定こども園などの交流は、あまりないが、地域のイベント参加や他業所とのスポーツ交流などおこなっている。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5				活動プログラムは、固定化しないように、毎回楽しい活動ができるよう工夫している。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	1			契約時や更新時に説明を行い同意をいただいている。時には、送迎時に説明することもある。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3			2	ご家族からのお問い合わせ等丁寧にお伝えするようにしている。今後保護者向けの研修会等を開催予定である。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	4	1			送迎時や連絡帳等で日頃から共通理解を深めている。特に気になる事は、電話でお尋ねしている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4			1	相談員を含めた、支援会議等ご利用者様のことについてお伝えしている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	1			子供が楽しんで行っている。 日頃より、ご利用者様に寄り添いながら支援を行なうようにしている。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			4	今後保護者会や保護者同士の交流の機会が設けられるようにしていきたい。 あすなるクラブには、ママズルームという保護者同士の交流ができる所があるので、発信していきたい。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1			ご利用者様やご家族からのご相談は、迅速かつ適切に対応するようになっている。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	1		毎回情報交換しています。	保護者様とは、LINEやお電話で意思の疎通や情報の伝達をしっかりとこなうようにしている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	1			通信は2カ月に1回発行。ホームページは、職員等の変更がある時は随時。SNSは、毎月発信している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	1			個人情報の取扱いは、十分に留意している。・個人が特定されない工夫もやっている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1			年間スケジュールを元に、研修および訓練を行っている。そのことを、連絡帳などで保護者様に周知を行っている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1		1	年間スケジュールを元に、研修および訓練を行っている。そのことを、連絡帳などで保護者様に周知を行っている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	1			年間スケジュールを元に、研修および訓練を行っている。そのことを、連絡帳などで保護者様に周知を行っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5				事故等が発生した時は、速やかに保護者様にご連絡をするようにしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5				当事業所では、安心して過ごせる空間をご提供している。また、個別対応を行い、お一人おひとりの特性に応じた対応を行っている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5				楽しい活動を日々考え、ご提供をさせていただいている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5			1年間大きく成長できました。ありがとうございます。	ご利用者様お一人おひとりに応じた、支援を行なうようにしている。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	みらいデイサービス あすなるクラブ兵庫				公表日	令和8年 4月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		パーティションを活用し、必要に応じて個別スペースを確保している 利用児童の特性や活動内容に応じて空間を柔軟に区切り、集中しやすい環境を整えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		職員の配置は、規定通りです。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	ひとり一人の目標設定や事業所の目標や面談、振り返り、評価等をおこない目標に向かい業務をおこなっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	責任者会議や全体会議等で、意見が出た内容は、全事業所で行うようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		現在、第三者による外部評価はおこなっていない。今後、検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	プログラムの立案はチームで行うようにしている。支援者の意見を重視して取り組むようにしている。	一部の短時間職員については、会議を午前中にするため、入れないことがある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	あすなろクラブでは、個別活動や小集団活動を組み合わせて行っている。また、就学に向けての取り組みを重視している。	エリアが広いことから、小集団活動を行う時、高揚されることがあり、パーテーションを活用することもある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	医療提携を行ってもらえる病院が、2か所あり、安心できる。	短時間職員の方にも、情報の共有が必要だった
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	支援会議等で、情報の共有や相互理解をおこなっている。	職員全員に周知の徹底が必要。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	小学校との情報の共有が必要なご利用者様には、移行支援会議等を行っている。	職員全員に周知の徹底が必要。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		保育所や認定こども園などの交流や地域のこどもと活動する機会を今後つくってきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	保護者様からお問い合わせがあったときは情報提供をするようにしている。	今後、保護者様には保護者向けの研修等の情報を提供していきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			今後、保護者同士で交流する機会を設けていきたい。（ママズルーム）
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			まだ、地域に開かれた事業運営はおこなっていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	あすなるクラブの年間計画をもとに、研修や訓練をおこなっている。職員への周知や連絡帳による保護者への周知をおこなっている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	今のところアレルギーの利用者はいない（2名）	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3	あすなるクラブの年間計画をもとに、取り組んでいる。アプリで保護者には年間計画をお知らせしている。	短時間職員の方にも、情報の共有が必要だった
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット事例があった時は全事業所で共有し、改善策を検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的に、事業所内や外部の研修に参加している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		契約時、重要事項説明書に基づき説明を行っている。危険回避のために身体拘束の可能性がある場合は、支援計画に記載することになっている。		